



Android / iPhone アプリ
ユーザーズ・マニュアル

目次

1	初期設定	1
1.1	「カメラ発!2」アプリのインストール	1
1.2	カメラの登録	1
1.2.1	スマートセットアップ	2
1.2.2	手動入力	4
1.2.3	ローカルサーチ	4
1.2.4	QRコード読み取り	5
2	画面構成	6
2.1	ホームページ	6
2.2	カメラページ	7
3	ライブビュー	8
3.1	ライブビューの見方	8
3.2	ライブビューの画面構成	9
4	設定	11
4.1	設定	11
4.2	アラーム通知	12
4.2.1	動体検知	12
4.2.2	音声	12
4.2.3	人体感知	12
4.2.4	温度計	12
4.3	ストリーム設定	13
4.4	ビデオ設定	14
4.4.1	ビデオ	14
4.4.2	夜間コントロール	15
4.5	カメラ設定	16
4.5.1	情報	16
4.5.2	ネットワーク	17
4.5.3	スケジュール	18
4.6	管理者	24
5	スケジュール	29
5.1	スケジュールの追加／編集／削除方法	29
5.2	スケジュールの設定	30
6	ローカル録画再生	31
7	外部(SDカード／クラウド／NAS)録画再生	32
7.1	SDカード録画	32
7.2	タイムラプス録画	32
7.3	クラウド録画(Dropbox)	32
7.4	NAS	33
7.5	ログ情報	33
8	情報	34

1. 初期設定

1.1 「カメラ発!2」アプリのインストール

(Androidの場合)

1. Playストアで「カメラ発!2」を検索します。
2. 「PLANEX カメラ発!2」をタップします。
3. [インストール]をタップします。
4. 必要なアクセスを確認して[同意する]をタップします。ダウンロード後、インストールが始まります。
5. インストール完了後、[開く]をタップして、「カメラ発!2」を起動します。

(iPhoneの場合)

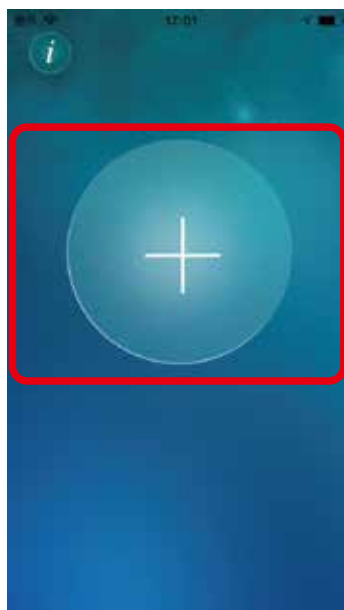
1. App Storeで「カメラ発!2」を検索します。
2. 「PLANEX カメラ発!2」をタップします。
3. [入手]をタップし、続けて[インストール]をタップします。ダウンロード後、インストールが始まります。
4. インストール完了後、[開く]をタップして、「カメラ発!2」を起動します。

1.2 カメラの登録

本アプリを使用するには最初にカメラを登録します。カメラの電源を入れ、ネットワークに接続してください。(詳細はカメラの「本体設定ガイド」を参照してください。)

1. 本アプリ起動後の最初のページで(+)をタップします。

初めて登録する時

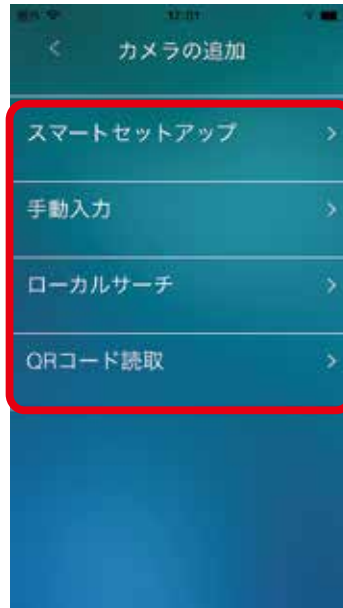


2台目以降を登録する時





2. カメラの登録方法を選択してタップします。



カメラの登録方法には4つの方法があります。

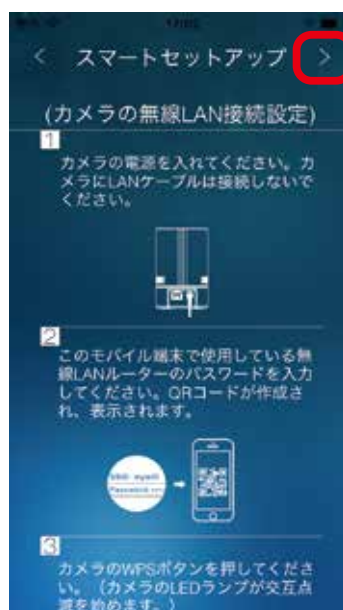
1.2.1 スマートセットアップ



この機能はCS-W90FHDのみ対応しています。

カメラの無線LAN設定と同時に本アプリへの登録を行う方法です。有線LAN環境がない場合や、WPSボタンを持たない無線LANルーターに接続する場合に適します。設定手順を始める前にカメラにLANケーブルが接続されていないことと、スマホが無線LANルーターに接続されていることを確認します。

1.説明を読んで右上の>をタップしてください。



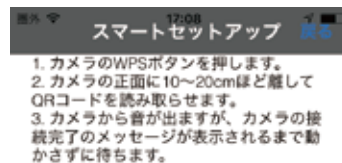


2. このモバイル端末で使用している無線LANルーターのパスワードを入力してください。



必ず2.4GHzの無線LANルーターに接続されていることを確認してください。
カメラは5GHzの無線LANルーターに対応していません。

3. QRコードが作成され、表示されます。



4. カメラのWPSボタンを押してください。(カメラのLEDランプが交互点滅を始めます。)
5. 10~30cmほど距離を離し、QRコードをカメラのレンズに読み取らせてください。
6. カメラがQRコードを認識すると、「ピー」とカメラから音が鳴り無線LAN接続を開始します。(カメラのLEDランプは順番に点滅を繰り返します。)
7. 無線LAN接続に成功するとカメラの青LEDが点灯します。

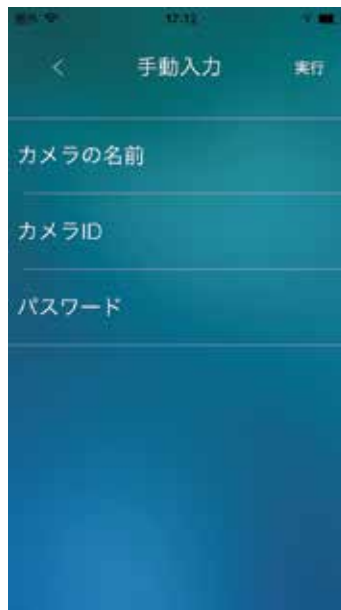


2~3分待っても接続に成功しない(LEDの点滅が止まらない)場合は、カメラを無線LANルーターに近づけてみてください。
それでも接続できない場合は、[戻る]をタップして 1. からやり直してください。



1.2.2 手動入力

カメラのIDと映像視聴用のパスワードを手動で入力して登録する方法です。

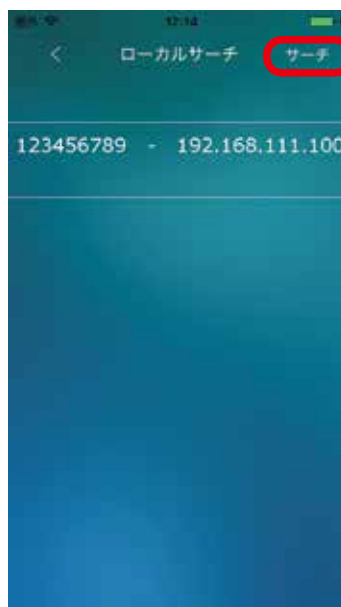


- カメラの名前
任意の名前を入力します。
- カメラID
カメラに貼られているラベルに記載されているカメラID(9桁の数字)を入力します。
- パスワード
映像視聴用のパスワードを入力します。工場出荷時のパスワードは「ipcam」です。

1.2.3 ローカルサーチ

本アプリを使用しているスマホと同じネットワークに接続しているカメラを検索して登録する方法です。

1. 検索して見つかったカメラのカメラIDとIPアドレスが一覧表示されます。

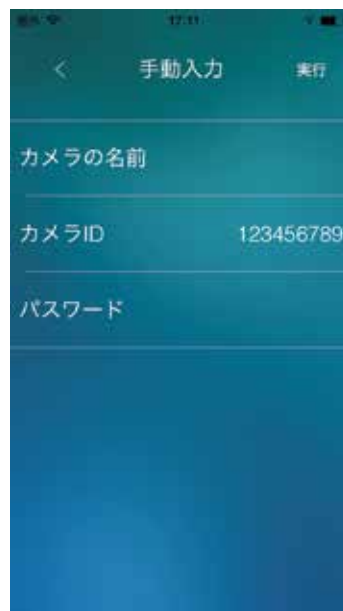


一覧に登録したいカメラが表示されないときは右上の[サーチ]ボタンをタップしてください。カメラが再検索されます。

2. 登録したいカメラをタップします。



3. カメラIDが入力された状態で手動入力ページが表示されます。



4. 「1.2.2 手動入力」を参考に値を入力します。

1.2.4 QRコード読み取り

QRコードをスマホで読み込んで登録する方法です。

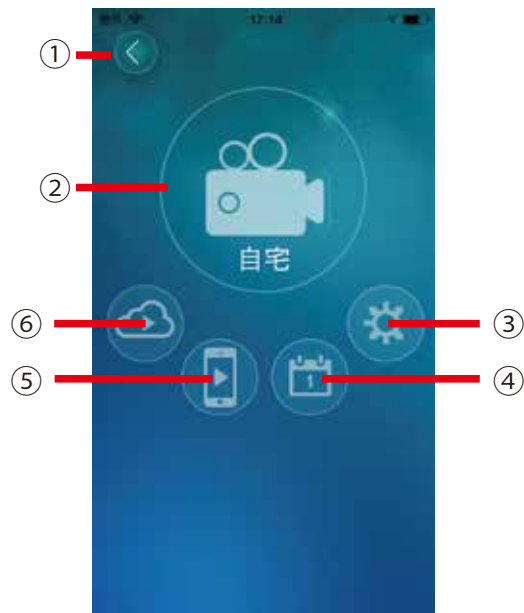
2. 画面構成

2.1 ホームページ



1. アプリの情報ボタン
アプリのバージョン等の情報を表示します。
2. カメラの追加ボタン
カメラリストにカメラを追加します。
3. カメラの削除ボタン
カメラリストからカメラを削除します。
4. ライブビューボタン
カメラリストで選択しているカメラのライブビューページに移動します。
5. ステータス表示
カメラがオンラインのときは緑、オフラインのときは赤が表示されます。
6. カメラリスト
左右にフリックして選択するカメラを画面中央に置きます。
画面中央に置いた状態でタップするとそのカメラのカメラページが表示されます。

2.2 カメラページ



1. 戻るボタン
前のページに戻ります。
2. ライブビューボタン
ライブビューページに移動します。
3. 設定ボタン
カメラの設定ページに移動します。
4. スケジュールボタン
スケジュールページに移動します。
5. ローカル録画再生ボタン
ローカル録画再生ページに移動します。
6. 外部録画再生ボタン
外部録画再生ページに移動します。



3. ライブビュー

3.1 ライブビューの見方

ホームページやカメラページのライブビューボタンをタップします。



初めて使用するときライブビューボタンはビデオカメラのマークになっていますが、2回目以降は設定に応じて最後に表示した映像のサムネイルか指定した画像が表示されます。表示する画像の設定はカメラの設定ページで行います。

映像視聴用のパスワードが工場出荷時のままの場合は、パスワードの変更を求められますので、新しい値を入力して変更します。



工場出荷時の映像視聴用のパスワードは「ipcam」です。

映像視聴用のパスワードの変更はカメラと同じネットワーク内からのみ行うことができます。スマホをカメラと同じルーターに接続して操作を行ってください。

3.2 ライブビューの画面構成



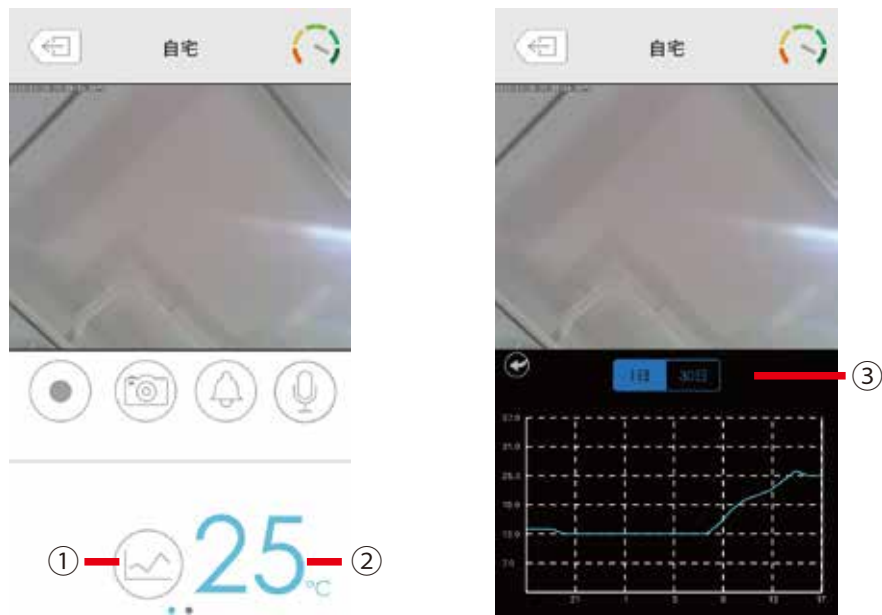
1. 前のページに戻る
2. 回線状況メーター
3. ライブビデオ
パン／チルト対応カメラの場合、この部分をフリックして操作することができます。
4. 録画開始／停止ボタン
スマホ本体へ現在再生している映像が録画されます。再生方法は「6ローカル録画再生」を参照してください。
5. スナップショットボタン
スマホ本体へ静止画が保存されます。Android版はDCIMフォルダー、iPhone版はカメラロールに保存されます。
6. アラーム再生ボタン
カメラからアラームが再生されます。
7. マイクボタン
オンにするとスマホ側で話した声がカメラのスピーカーから出力されます。
オフにするとカメラ側の音がスマホから出力されます。



ライブビューページを表示している状態でスマホを回転させると、通常モードと全画面モードが切り替わります。



温度センサーを内蔵しているカメラの場合、画面下部に温度が表示されます。



1. グラフボタン

タップすると温度変化のグラフが表示されます。

2. 温度

タップすると温度単位が摂氏(°C)と華氏(°F)で切り替わります。

3. 期間ボタン

グラフで表示する期間を1日と30日から選択できます。

4. 設定

4.1 設定

カメラページの設定ボタンをタップすると、カメラの設定ページが表示されます。



- カメラ名

カメラの名前を設定します。

- ID

カメラのカメラIDが表示されます。

- アイコン

カメラのアイコンを指定します。「画像の指定」を選択すると、スマホの中にある画像をアイコンにできます。「再生時の画像」を選択すると、カメラが写した映像がアイコンになります。

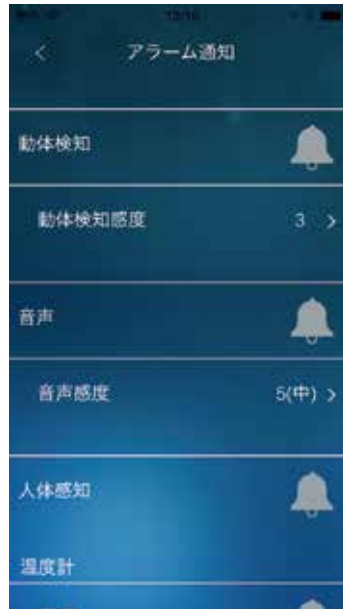
- パスワード

映像視聴用のパスワードを入力します。



4.2 アラーム通知

カメラ発!はカメラ本体にいくつかのセンサーを搭載しています。(搭載するセンサーはモデルによって異なります。)センサーが設定された状態を検知してスマホにプッシュ通知を送るには、カメラの設定ページで「アラーム通知」をタップして表示されるアラーム通知ページで設定を行います。カメラに搭載されたセンサーが反応すると、スマホにプッシュ通知が届きます。届いたプッシュ通知をタップするとライブビデオを見ることができます。SDカードがカメラに挿入されていれば録画を再生することもできます。



4.2.1 動体検知

動体検知はカメラの映像を解析して映像に変化があったことを検知する機能です。動体検知の感度は1(高)から10(低)の10段階で設定できます。1(高)に設定すると、映像全体の大きさに対して約1%以上の物体が動いたときに検知します。つまり、小さな物体の動きでも検知されることとなります。10(低)に設定した場合は、約10%以上の物体が動いたときに検知するため、小さな物体の動きは検知されなくなります。

動体検知による通知を有効にするには、ベルのマークをタップします。

4.2.2 音声

音声はマイクがとらえた音声の大きさを検知する機能です。音声の感度は1(高)から10(低)の10段階で設定できます。1(高)が最も小さい音でも検知し、10(低)は最も感度が低くなります。

音声による通知を有効にするには、ベルのマークをタップします。

4.2.3 人体感知

人体感知センサーを使って人の動きを検知する機能です。

人体感知による通知を有効にするには、ベルのマークをタップします。

4.2.4 温度計

温度計の値が設定した範囲から外れたことを検知する機能です。

温度の単位を摂氏(°C)と華氏(°F)から選択し、温度範囲(高…上限、低…下限)を設定します。温度計による通知を有効にするには、ベルのマークをタップします。



人体感知と温度計はCS-W60HDとCS-W70HDのみ対応しています。

4.3 ストリーム設定

ストリーム設定ページではカメラの画質や解像度などを設定します。
ストリーム設定ページを開くにはカメラの設定ページで「ストリーム設定」をタップします。



●回線速度

カメラが使用するインターネット回線速度の設定を行います。回線速度が速いほど映像品質が向上します。お使いのインターネット回線速度を下回るものに設定してください。

●自動

「オン」にすると、解像度とフレームレートを、「回線速度」に合わせて自動で設定します。

●解像度

映像の解像度を選択します。低い回線速度で高い解像度を選択すると映像品質が下がるときがありますので、ご注意ください。

●フレームレート

動画1秒あたりのフレーム数を設定します。1fps~30fpsの中から選択します。数値が大きいほど滑らかな動きになります。低い回線速度で高いフレームレートを選択すると映像品質が下がるときがありますので、ご注意ください。

●マイク

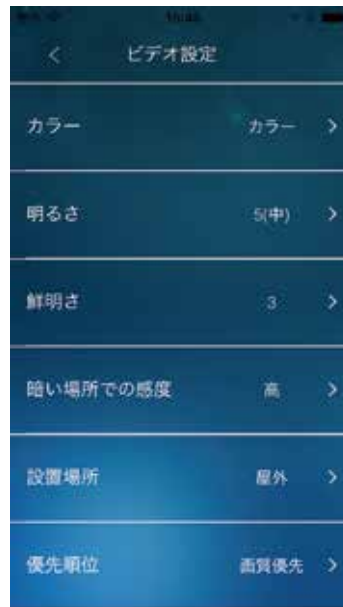
「オン」にすると、カメラのマイクを有効にします。

4.4 ビデオ設定

4.4.1 ビデオ

ビデオ設定ページでは映像の鮮明さや上下反転等を設定します。

ビデオ設定ページを開くにはカメラの設定ページから「ビデオ設定」→「ビデオ」の順でタップします。

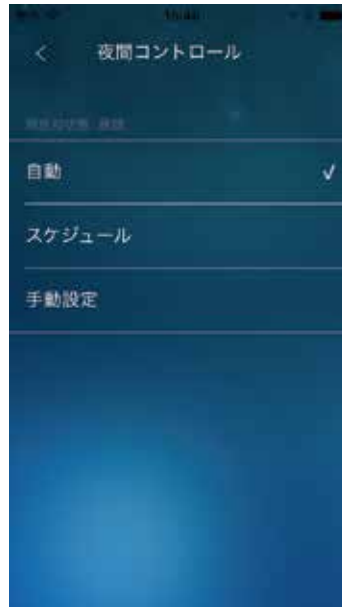


- カラー
「カラー」「白黒」から選択します。
- 明るさ
映像の明るさを設定します。数値が低いほど映像は暗くなります。
- 鮮明さ
映像の鮮明さを設定します。数値が高いほど映像はシャープになります。
- 暗い場所での感度
最高 / 高 / 標準から選択します。
- 設置場所
屋外 / 屋内 / 日差しの強い屋内
カメラの設置場所を選択します。強い日差しが入る屋内にカメラを設置すると、映像が白くぼやけることがあります。その場合は「日差しの強い屋内」を選択してください。
- 60Hz/50Hz
お住まいの地域の電源周波数を選択します。
- 優先順位
動き優先 / 画質優先 / 標準画質 / 最高画質
回線速度が設定した速度に満たないとき、何を優先するかを設定します。
- 日時表示
「オン」にすると、映像画面に日時を表示します。
- ビデオフリップ
「オン」にすると映像の上下が反転します。
カメラを逆さに設置したときは、「オン」にします。

4.4.2 夜間コントロール

夜間コントロールページでは夜間モードにする時間帯を設定します。夜間は LED ライトで赤外線を照射し、暗い場所でも映像を鮮明に表示します。夜間モードはモノクロ表示となります。

夜間コントロールページを開くにはカメラの設定ページから「ビデオ設定」→「夜間コントロール」の順でタップします。



- 自動
カメラの光センサーが働き、暗くなると自動的に夜間モードになります。
- スケジュール
夜間モードになる時間を設定します。
- 手動設定
手動で「昼間」「夜間」を切り替えます。

4.5 カメラ設定

4.5.1 情報

情報ページではカメラの情報が確認できます。

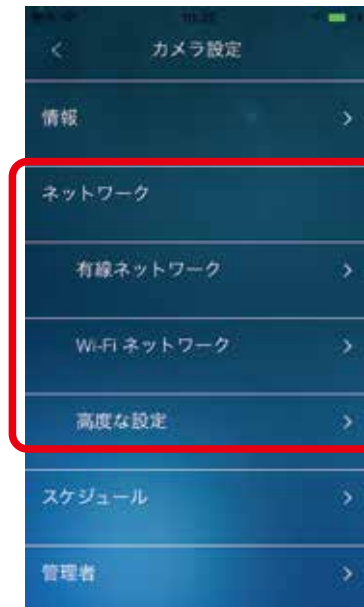
項目	値
モデルインデックス	151
ファームウェアバージョン	v030712
登録状況	登録済み
ネットワークタイプ	有線(DHCP)
IP アドレス	192.168.111.101
接続ユーザー数	0
NAS録画	録画していません

- モデルインデックス
カメラの種類が表示されます。
- ファームウェアバージョン
ファームウェアのバージョンです。
- 登録状況
本製品の登録状況が表示されます。
- ネットワークタイプ
本製品が動作しているネットワークの種類(有線/無線)と接続方法(DHCP/固定IP/PPPoE)が表示されます。
- IPアドレス
カメラが使用しているIPアドレスが表示されます。
- 接続ユーザー数
カメラに接続しているユーザー数が表示されます。
- NAS録画
NAS録画の設定状態が表示されます。
- SDカード録画
SDカード録画の設定状態が表示されます。
- MACアドレス
本製品の有線LANポートのMACアドレスが表示されます。
- Wi-Fi MACアドレス
本製品の無線LANのMACアドレスが表示されます。

4.5.2 ネットワーク

ネットワークではカメラのネットワークに関する設定をします。

ネットワークの設定を行うにはカメラの設定ページから「カメラ設定」→「ネットワーク」の順でタップします。



【有線ネットワーク】

有線 LAN の設定を行います。

【Wi-Fiネットワーク】

「Wi-Fi」をオンにして、カメラ周辺の無線ネットワークを検索します。

表示されたアクセスポイント (SSID) の中から接続先をタップし設定を行います。

IPアドレスの設定は、接続するアクセスポイント (SSID) 表示の右端にある「>」をタップして行います。

【高度な設定】

PPPoE接続を設定します。

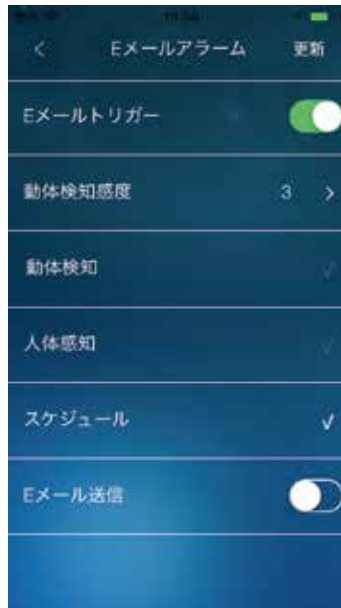
4.5.3 スケジュール

スケジュールではアラームに関する設定と録画先や方法に関する設定をします。

スケジュールの設定を行うにはカメラの設定ページから「カメラ設定」→「スケジュール」の順でタップします。ここでは、各アラームや録画先に対してスケジュールを使用するかどうかの設定ができます。実際にスケジュールを作成するには、カメラページのスケジュールボタンをタップします。(「5スケジュール」参照)

【Eメールアラーム】

センサーが動きを検知したときなどに、登録したメールアドレスに画像を送ります。



- Eメールトリガー

「ON」にすると設定ができます。

- 動体検知感度

1(高)～10(低)から選択します。

- 動体検知／人体感知／スケジュール

Eメール送信のトリガーを設定します。動体検知と人体感知は同時に選択できます。

- Eメール送信

登録した3件までのアドレスにJPEG画像を添付したEメールを送信します。

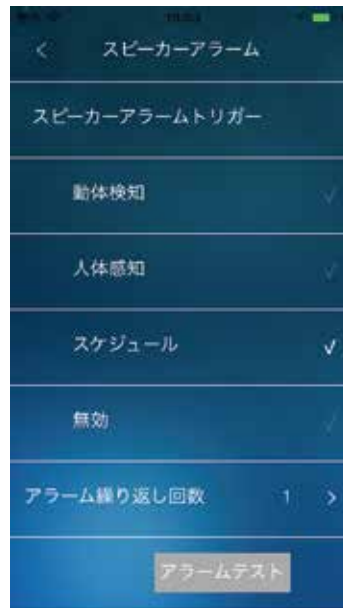
デフォルト以外のSMTPサーバーを使用する場合は、「SMTP設定」をタップして「デフォルトのSMTPサーバーを使う」をオフにしてください。SMTPサーバーの設定項目が表示されますので設定します。暗号化が必要なSMTPサーバーには対応していません。





【スピーカーアラーム】

センサーが動きを検知したときなどに、スピーカーアラームが作動します。



- スピーカーアラームトリガー
スピーカーアラームのトリガーを動体検知、人体検知、スケジュール、無効から選択します。
動体検知と人体感知は同時に選択できます。
無効を選択するとスピーカーアラームは動作しません。
- アラーム繰り返し回数
アラームが鳴る回数を設定します。
- アラームテスト
スピーカーからアラーム音が出ます。

【NAS/クラウド】

NASとクラウドへの録画設定をします。クラウドはDropboxを使用しますので、別途Dropboxのアカウントが必要です。NASとクラウドに同時に録画することはできません。どちらか一方を選択してください。

[NAS]



●NAS有効

NASに録画をするとき「オン」にします。

●状態

録画の状態を表示します。

●常時録画

常時録画をするときは「オン」にします。「オフ」の場合はシーンで指定された条件に従って録画されます。

●日数指定／空き容量指定

日数指定

「録画内容を保存する期間」で指定した日数より前の録画が削除されます。

空き容量指定

「空き容量が設定以下の場合」で指定した容量より空き容量が少なくなったとき、「循環録画／録画停止」で設定した動作をします。

●循環録画／録画停止

循環録画

古い録画を削除します。

録画停止

録画を停止します。

●使用するNASのIPアドレス

使用するNASのIPアドレスを設定します。

●共有フォルダー名

使用するNASの録画先フォルダー名を指定します。

●NASアクセスアカウント

録画先のフォルダーにアクセスするためのアカウントを入力します。

●NASアクセスパスワード

録画先のフォルダーにアクセスするためのパスワードを入力します。

[クラウド]



●Dropbox有効

クラウド(Dropbox)に録画をするとき「オン」にします。

録画を開始するにはDropboxにログインが必要です。

「ログインしていません」と表示されているときは、[ログイン]ボタンをタップしてDropboxにログインしてください。

●常時録画

常時録画をするときは「オン」にします。「オフ」の場合はシーンで指定された条件に従って録画されます。

●日数指定／空き容量指定

日数指定

「録画内容を保存する期間」で指定した日数より前の録画が削除されます。

空き容量指定

「空き容量が設定以下の場合」で指定した容量より空き容量が少なくなったとき、「循環録画／録画停止」で設定した動作をします。

●循環録画／録画停止

循環録画

古い録画を削除します。

録画停止

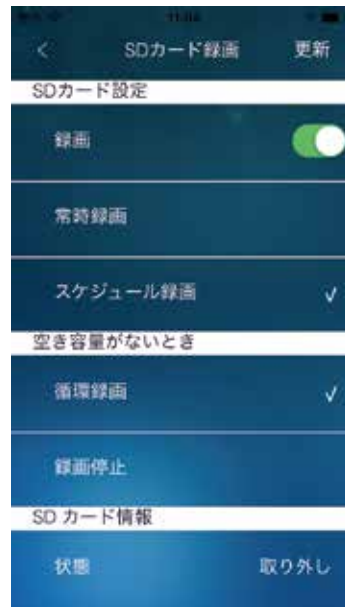
録画を停止します。



クラウド(Dropbox)はCS-W90FHDのみ対応しています。

【SDカード録画】

SDカードへの録画設定をします。



●録画

「ON」にするとSDカードへ録画がされます。

●常時録画／スケジュール録画

録画を常時行うか、スケジュール設定を行うか選択します。

●循環録画／録画停止

循環録画

SDカードの残り容量が少なくなったとき、古い録画を削除します。

録画停止

SDカードの残り容量が少なくなったとき、録画を停止します。

●状態

録画の状態を表示します。



【タイムラプス録画】

タイムラプス録画の設定をします。

タイムラプスとは一定間隔で撮影した静止画を連続して再生することで時間の経過を早回しで再生できる機能です。

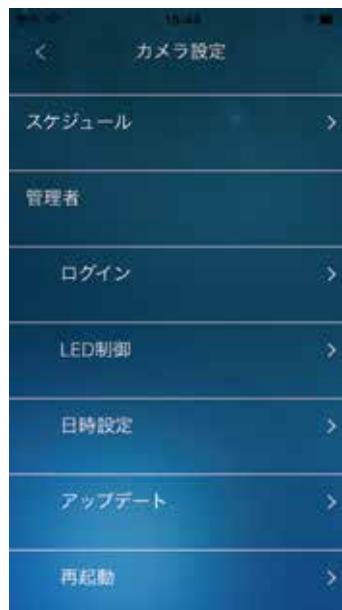


- タイムラプス録画の開始
オンにするとタイムラプス録画を行います。録画はSDカードに保存されます。
- タイムラプスの間隔
静止画を撮影する間隔を秒単位で設定します。偶数のみ設定可能です。
- 録画のフレームレート
フレームレートを設定します。



タイムラプスはCS-W90FHDのみ対応しています。

4.6 管理者



【ログイン】

管理者のユーザー名、管理者のパスワード、映像視聴用のパスワードを設定します。
設定はカメラと同じネットワーク内からのみ可能です。

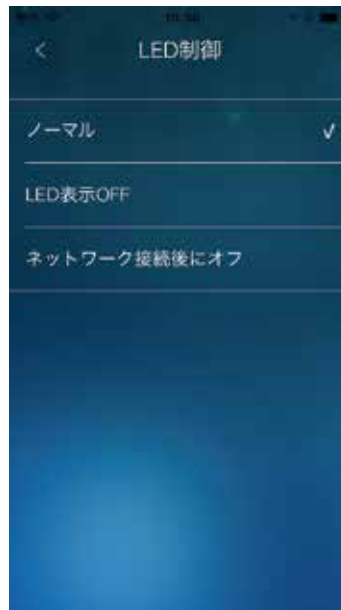


- ユーザー名
管理者のユーザー名を入力します。
- 管理者パスワード
管理者のパスワードを入力します。
- パスワード確認
確認のため管理者のパスワードをもう一度入力します。
- 視聴用パスワード
映像視聴用のパスワードを入力します。



【LED制御】

カメラのLEDの表示方法を設定します。



●ノーマル／LED表示OFF／ネットワーク接続後にオフ

ノーマル

本体のLED表示を有効にします。

LED表示OFF

本体のLED表示を無効にします。

ネットワーク接続後にオフ

インターネットに接続した後、LEDの表示を無効にします。

【日時設定】

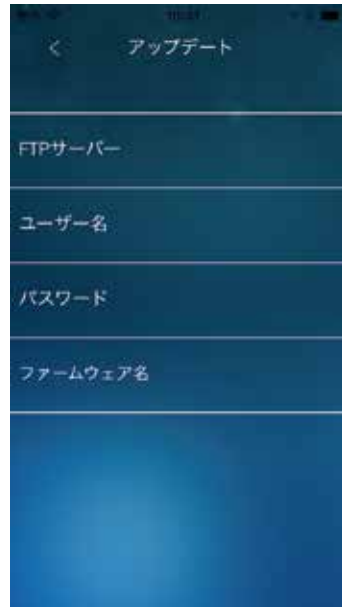
カメラの内蔵時計のタイムゾーンを設定します。



- **タイムゾーン**
タイムゾーンを設定します。
- **現在の日時**
カメラの内蔵時計の時刻を表示します。
- **システム動作時間**
カメラが起動してからの時間を表示します。

【アップデート】

FTPサーバーを使ってファームウェアのアップデートを行います。
この機能を使うにはFTPサーバーを別途用意する必要があります。



- FTPサーバー
FTPサーバーのホスト名またはIPアドレスを設定します。
- ユーザー名
FTPサーバーのユーザー名を設定します。
- パスワード
FTPサーバーのパスワードを設定します。
- ファームウェア名
FTPサーバーにあるアップデートファイル名を設定します。



【再起動】

カメラを再起動します。



5. スケジュール

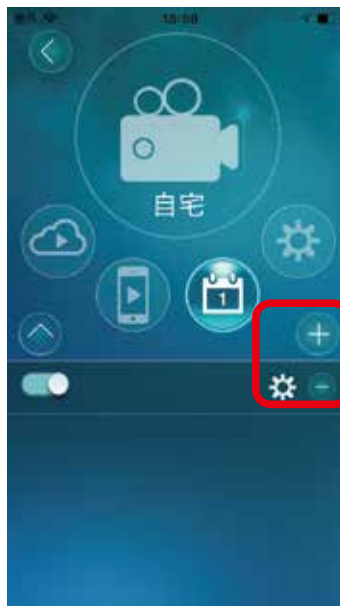
アラームや録画を実行するスケジュールを設定します。

5.1 スケジュールの追加／編集／削除方法

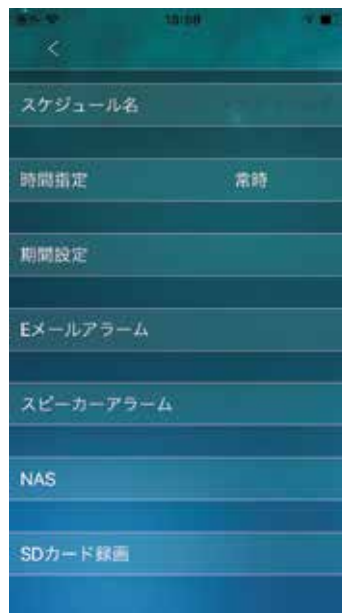
1. カメラページのスケジュールボタンをタップします。



2. スケジュールを新規に作成する場合は(+)ボタンを、既存のスケジュールを編集したいときは(⚙️)ボタンを、削除する場合は(-)ボタンをタップします。



5.2 スケジュールの設定



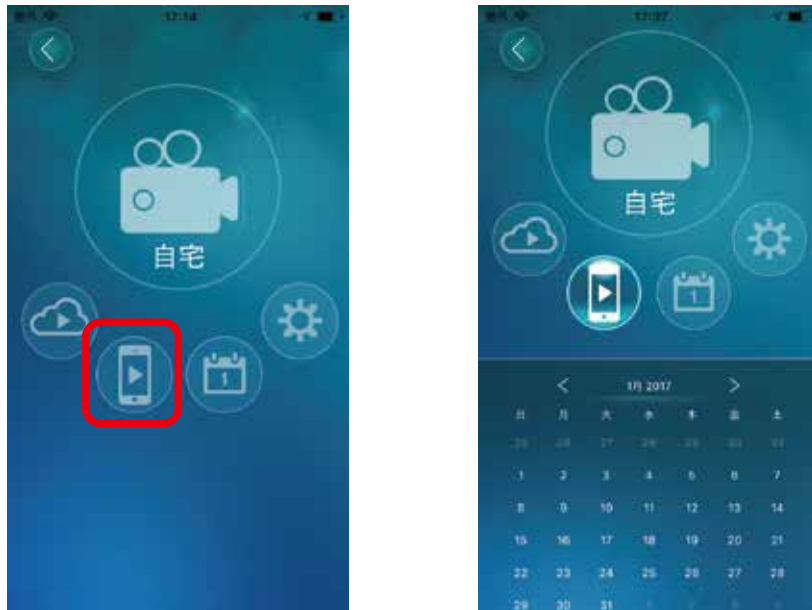
- スケジュール名
スケジュールの名前を設定します。
- 時間設定
アラームや録画を動作されるスケジュールを常時、毎日、毎週、期間設定から選択します。
- 期間設定
時間設定で毎日、毎週、期間設定を選択したときに、開始と終了時刻や日時を設定します。
- Eメールアラーム
動体検知トリガー / 人体感知トリガー / 温度
Email を送るタイミングを選択します。
- スピーカーアラーム
動体検知トリガー / 人体感知トリガー / 温度
アラームを鳴らすタイミングを選択します。
- NAS
動体検知トリガー / 連続録画
NASやクラウドに録画するタイミングを選択します。
- SDカード録画
動体検知トリガー / 人体感知トリガー / 温度 / 連続録画
SDカードに録画するタイミングを選択します。



人体感知トリガーと温度は、対応機種(CS-W60HD,CS-W70HD)のみ
利用可能です。

6. ローカル録画再生

ローカル録画再生はライブビューの録画ボタンを使ってスマホ本体に録画した映像を再生します。



カメラページのローカル録画再生ボタンをタップすると、ローカル録画再生ページが表示されます。

iPhone版では「>」アイコンをタップすることで、MP4ファイルに変換し端末のカメラロールに保存することができます。

7. 外部 (SDカード/タイムラプス/クラウド/NAS) 録画再生

カメラページの外部録画再生ボタンをタップすると、外部録画再生ページが表示されます。



7.1 SDカード録画

カメラのSDカードに録画された映像を再生します。

7.2 タイムラプス録画

タイムラプスで録画された映像を再生します。

7.3 クラウド録画(Dropbox)

クラウド(Dropbox)に録画された映像を再生します。

再生するにはDropboxにログインが必要です。初めて使用するときにはDropboxのログイン画面が表示されますので、ログインを行ってください。



Android版をご使用の場合で、下記のようなアラートが表示されてクラウド録画の再生ができない場合は、「カメラ発! 2」以外のカメラ発!用アプリ(「カメラ発!」、「カメラ発! センサー」)をAndroid端末からアンインストールしてください。





7.4 NAS

NASに録画された映像を再生します。

7.5 ログ情報

カメラに起きたイベントの履歴を表示します。認証ダイアログが表示されたときは、そのカメラの管理者のユーザー名とパスワードを入力してください。

記録するイベントは画面右上の(≡)ボタンをタップして設定することができます。



ログ情報はCS-W90FHDのみ対応しています。

8. 情報

情報ページを表示するにはホームページ左上の(i)ボタンをタップします。



- バージョン
「カメラ発! 2」アプリのバージョンを表示します。
- 端末空き容量
お使いの端末の空き容量を表示します。
- 録画ファイル容量
「カメラ発! 2」アプリが保存している録画ファイルの容量を表示します。
- カメラリストのインポート
従来の「カメラ発!」アプリから、カメラリストを読み込みます。
この機能を利用するには「カメラ発!」アプリを最新版に更新してください。
- チュートリアル
「カメラ発! 2」アプリの簡単な使用方法が表示されます。